

愛知県立大学大学院情報科学研究科修士学位論文審査基準

1. 学位の種類

修士（情報科学）

2. 修士学位論文の審査基準

修士学位論文は、以下の審査基準を満たしているか審査を行い、基準を満たした場合に合格とする。

(ア)新規性

従来の研究と比較し、新たな観点・知見・解釈などを明確に示していること。

(イ)有効性

得られた研究結果が情報科学の発展に寄与するものであり、その意義が適切に説明されていること。

(ウ)信頼性

既存の知識や理論、十分なデータに基づき、結果を定性的および定量的に説明していること。また、再現性や理論的妥当性が確認できること。

(エ)明瞭性

本文、図表、引用、文献などの記述が適切であり、論理構成が首尾一貫していること。また、科学技術論文として客観性と専門性を備え、論理的かつ明確に記述されていること。

(オ)研究倫理

データの捏造、改ざん、盗用などの研究不正を行っておらず、研究倫理に則っていること。

3. 修士学位論文の審査等手順

修士学位を得ようとする者は、以下の手順を経る必要がある。

- (1) 中間発表
- (2) 修士論文題目届の提出
- (3) 予備審査
- (4) 修士論文要旨の提出
- (5) 修士論文の提出
- (6) 最終試験（修士論文審査会）

最終試験終了後、情報科学研究科会議は、審議により修士学位授与の可否を決定する。

愛知県立大学大学院情報科学研究科博士学位論文審査基準

1. 学位の種類

博士（情報科学）

2. 博士学位論文の審査基準

博士学位論文は、以下の審査基準を満たしているか審査を行い、基準を満たした場合に合格とする。

（ア）新規性

研究の新規性を従来の研究と比較して明確に示し、独創的な視点や技術的・理論的な貢献があること。

（イ）有効性

得られた研究結果が情報科学の発展に寄与し、学術的に有意義な成果を示していること。

（ウ）信頼性

既存の知識や理論、十分なデータに基づき、結果を定性的および定量的に説明し、再現性や理論的妥当性が確認できること。

（エ）明瞭性

本文、図表、引用、文献などの記述が適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっていること。また、科学技術論文として客観性と専門性を備え、国際的な学術基準を満たしていること。

（オ）研究倫理

データの捏造、改ざん、盗用などの研究不正を行わず、研究倫理を遵守し、適切なデータ管理と責任ある研究活動を実践していること。

3. 博士学位論文の審査等手順

博士学位を得ようとする者は、以下の手順を経る必要がある。

(1) 中間発表

(2) 事前審査の申請

(3) 事前審査

(4) 学位審査の申請

(5) 公聴会

公聴会終了後、学位審査委員会による学位論文の審査ならびに申請者の学力確認、博士学位審査会議による予備審査の結果を受けて、情報科学研究科会議は、審議により博士学位授与の可否を決定する。